

UTokyo Slack説明会

パート1

「概要とワークスペースの作成について」

2022年8月24日

東大構成員と社会とのオープンネスとフェアネスを実現する

必要な時に必要なメンバーが対話の場を能動的に作り、情報流通の壁を作ることなく非同期で対話できる環境

蓄積された
知識経験に
直ぐにアク
セスできる
環境

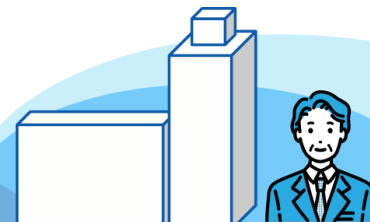


地方自治体

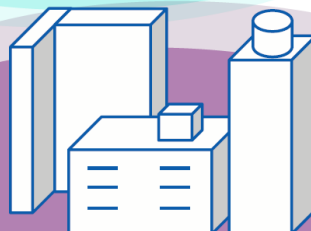


病院・医療団体

フラットな
意見交換と
共感を生み
やすい
UI/UX



研究機関



東京大学



政府機関

開かれた
ネットワー
クの中での
しなやかな
対話力

自らが起点
となり直ぐ
にプロジェ
クトを立ち
上げられる



民間企業



社会インフラ



本日の説明者等

- 玉造 潤史 (東京大学 情報システム本部副本部長・准教授)
- 水上 順一 (東京大学 副理事・情報システム部長)
- 白川 哲也 (東京大学 本部情報支援課長)
- 竹内 朗 (東京大学 情報システム本部)
- 南雲 尚子 (株式会社セールスフォース・ジャパン Slackカスタマーサクセス本部)
- 目崎 徹 (アビームコンサルティング株式会社 HCMセクター)

LearnWiz One（質疑応答）

質問はEdTechツール「LearnWiz One」で受け付けます。

<https://app.one.learnwiz.jp/ja/topic/84353851?pwd=977151>

- 「自分の投稿」で質問の投稿ができます。
- 「他者の投稿」で他の人の投稿に「いいね」をつけられます。
- 「人気順」「投稿順」で他の人の投稿を一覧できます。

回答は、内容により、LearnWiz One上の返信メッセージで行う場合と、説明会の最後に口頭で行う場合があります。

目次

1. 説明会の構成
2. UTokyo Slackの概要
3. ワークスペースの作成・運用
4. 実際に参加してみる
5. 編入（移行）の概要
6. Slack以外のコミュニケーションツール：
Microsoft Teamsのアップデート
7. 質疑応答

説明会の構成

説明会の構成

パート1からパート3の3部構成となっています。

パート1「概要とワークスペースの作成について」（本日）

UTokyo Slack の概要と、新規にワークスペースを作成して利用を始めるために必要なことを説明します。

説明会の構成

パート1からパート3の3部構成となっています。

パート2「既存ワークスペースの編入（移行）について」 （8月31日 16:30～17:30）

現在お使いいただいている既存のワークスペースがある場合に、それをUTokyo Slackとして利用するための特別な手続きがありますので、それについて説明します。

パート1での説明をご理解いただいていることを前提とします。

説明会の構成

パート1からパート3の3部構成となっています。

パート3「学内でのこれまでの活用事例」 (9月上～中旬予定)

学内での活動でSlackを活用した事例について紹介し、Slackの利用方法について具体的なイメージを持っていただけるような知見を共有します。

今日は時間の都合で、Slackをどう活用するかの話は詳しくできませんので、特にSlackの利用が初めての方・利用経験の少ない方は、こちらのパート3にもご参加ください。

UTokyo Slackの概要

UTokyo Slackの概要

- Slackの「Enterprise Grid」プランを契約しており、有償機能が使えます。
 - 過去のメッセージを無制限に参照できる
 - ハドルミーティングを（3人以上で）開催できる
 - ユーザーグループ、ワークフロー、などなど
- 利用対象者はUTokyo Accountを持っている構成員です。
 - 学外の方と一緒に利用する方法がないわけではありません。（後述）
- 利用方法などはuteleconポータルサイトに掲載します。
 - <https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/slack/>

「試行」としての運用について

当面の間は「試行」として運用します。

- なるべく迅速に利用開始できるように「試行」という形を取ることになりました。
 - 継続して運用する前提のもと、実際にご利用いただきながら設定や機能の調整を行う期間と位置付けます（運用を終了する予定があるわけではありません）。
- 利用者の皆さんからのフィードバックをお願いします。
 - 特に、設定の改善が必要な点などにお気づきの際はご連絡ください。
- 個々の設定が変更されたり、特定の機能が無効化される可能性があることをご了承ください。

ワークスペースの作成・運用

ワークスペースの作成

- ワークスペースの作成は、教職員からの申請で受け付けます。
- 東京大学における活動のため全学的に整備・運用されているシステムであることを踏まえ、適切な利用となるよう責任を持って管理・運用してください。
 - 学生が中心の活動でも、責任者となる教職員から申請いただければ利用していただけます。
- 詳細はuteleconポータルサイトに掲載しますので、熟読した上で申請してください。
 - [「UTokyo Slackにおけるワークスペースの作成と運用」](#)
 - 8月26日までに申請フォームを公開する予定

ワークスペース作成の前に

- 通常のSlackワークスペースとは仕様が異なる点があります。
 - 東京大学全体で一つの「オーガナイゼーション」という管理単位があり、それぞれのワークスペースはそのオーガナイゼーション内に作成されます。
 - プロフィール・カスタム絵文字はオーガナイゼーション全体で共通という制約があります。
- 利用対象者はUTokyo Accountを持っている構成員です。
 - [UTokyo Accountの多要素認証](#)の有効化が必須です。
 - [情報セキュリティ教育](#)の受講を前提とします。
 - 学外の方と一緒に利用する方法がないわけではありません。（後述）

ワークスペースが作成されたら

- やり取りしたい人を招待してください。
 - uteleconで説明されている手順で行ってください。
(他の手順で招待しても利用できません。)
- 話題ごとのやり取りの場となる「チャンネル」を作成するなど、コミュニケーションの場として整備してください。
 - どのように整備したらよいかは、説明会パート3「学内でのこれまでの活用事例」で具体的なイメージを持っていただけるような知見を共有します。

ワークスペースの一覧画面

UTokyo Slack特有の機能として、ワークスペースの一覧画面があります。

- 自動的に掲載されるわけではなく、手動で「公開範囲」の設定を変更すると掲載されるようになります。
- 一覧画面からワークスペースへの参加を受け付ける設定も可能です。
 - 東京大学の構成員に広く参加してもらえるようなオープンな場を作ることができます。

学外者と一緒に利用する

- 利用対象者は基本的にはUTokyo Accountを持つ構成員ですが、「コネクト」機能で学外者と一緒に利用する方法があります。
 - ただし、通常のワークスペースと使い勝手が同様ではなく、常におすすめるわけではありません。
- 「コネクト」機能は、複数のワークスペースでチャンネルを共有（相互乗り入れ）する機能です。
 - 学外者は、直接UTokyo Slackのワークスペースに参加するのではなく、外部の別のワークスペースに参加して利用することになります。
 - 通常は有償ワークスペース同士でしか利用できない機能ですが、UTokyo Slackのプランでは、相手のワークスペースが無償利用のワークスペースでも利用できます。

実際に参加してみる

実際に参加してみる

既に利用できるワークスペースが2つあります。

- **UTokyo アゴラ**

- 東京大学の構成員であれば誰でも参加できるお喋りの場として
- Slackを初めて使う方の練習の場所として

- **UTokyo Slackワークスペース運用情報交換**

- ワークスペースの管理・運用をされる方を中心とした情報交換の場

UTokyo Accountの多要素認証の有効化を済ませていれば、
<https://utokyo.enterprise.slack.com/> から参加できるようになっていますので、この場で試してみてください。

詳細な参加手順：<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/slack/join>

編入（移行）の概要

編入（移行）の概要

別ファイルの資料で説明します。

Slack以外のコミュニケーション
ツール：
Microsoft Teamsのアップデート

Microsoft Teamsのアップデート

別ファイルの資料で説明します。

質疑応答

LearnWiz One（質疑応答）

質問はEdTechツール「LearnWiz One」で受け付けます。

<https://app.one.learnwiz.jp/ja/topic/84353851?pwd=977151>

- 「自分の投稿」で質問の投稿ができます。
- 「他者の投稿」で他の人の投稿に「いいね」をつけられます。
- 「人気順」「投稿順」で他の人の投稿を一覧できます。

回答は、内容により、LearnWiz One上の返信メッセージで行う場合と、説明会の最後に口頭で行う場合があります。